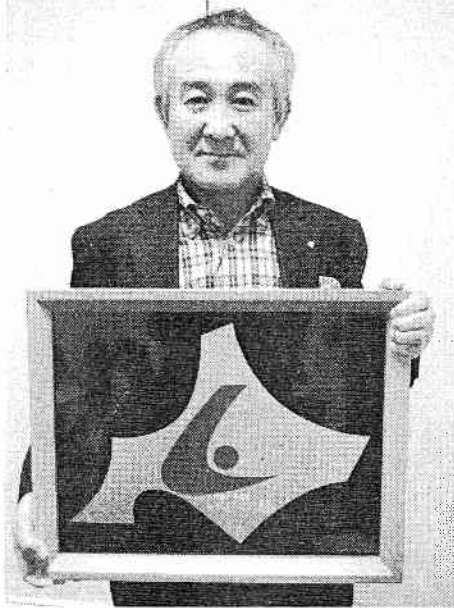


# 横地さんに功劳賞

全国規模大会  
釧路誘致など 競技の普及、振興に力

釧路体操連盟会長の横地敏光さんが体操競技振興への貢献が認められ、今月11日に札幌で開かれた北海道体操連盟の総会で功劳賞を受賞した。



横地さんは父重幸さんが

創設し今年で30回を迎えた横地杯体操大会を継承。自

らも1993年から釧路体操連盟理事、98年から副会長、2007年から会長を務めている。釧路地区での

体操選手育成、湿原の風アリーナ釧路のオープニングイベントとして体操男子日本代表チームの招聘、全道

北海道体操連盟功劳賞の盾を手にする横地会長

ジュニア大会や東日本ジュニア大会の釧路誘致など競技の普及、振興に努めてきたことが認められての受賞となった。

受賞に当たって横地さんは「父が始めた横地杯は今年で30回となり、多くの選手が巣立っている。この活動や普及に取り組んできたことが認められたと思う。大変うれしい」と喜びを語る。

さらに、「2020年の東京五輪に出場する選手が出るとうれしい。少子化でスポーツ界にとっては競技人口にも影響が出る難しい時代だが、体操を通してスポーツ全般の振興に努めた

い」と抱負を語った。

なお、2年後には東日本ジュニア体操選手権が釧路で開催することが決定しており、大会成功にも意欲を見せている。(堀口義彦)